



令和4年9月22日(木)

幼保連携型認定こども園津田このみ学園今在家分園

ひよこぐみだより 9月

朝夕の空の色や肌に触れる風に、季節の移り変わりを感じるようになりました。園庭にトンボが飛ぶと指をさして興味津々の子どもたちです。虫かごに捕まえるとみんなで虫かごを囲んでジューッと観察していました。

これからも気候の良い日には戸外遊びや散歩に出掛け、季節の移り変わりを感じていきたいと思います。



そとあそびだいすき！

散歩紐を持って北園庭に遊びに行きました。以前はバギーに乗っていた子も、しっかりと散歩紐の輪を持って歩くことができました。また、横断歩道では保育者や友達の様子を見て自分も手をピンッと挙げて渡っています。散歩道に犬がいると「ワンワン！」と大喜びの子どもたちで、別れる時には「バイバイ」と元気に手を振っていました。

北園庭では巧技台に挑戦しました。梯子の坂に足を取られそうになり、登るのが難しい様子でしたが、手足の位置を試行錯誤しながら挑戦を続けるうちに自分の力で登ることができるようになりました。橋の部分では不安定さから、慎重になり最初は縁の所を持ってゆっくりとハイハイで進んでいました。繰り返し遊ぶうちにソーツと立ち上がれるようになり、保育者の手を持ったり、手を広げたりしてバランスを取りながら巧技台の橋を渡れるようになっていました。挑戦している間は集中して真剣な表情の子も、滑り台を滑り終えると満面の笑みを浮かべて「できた！」と達成感を味わっていました。



☆スプーンの持ち方☆

食欲の秋になりました。4月の頃は手づかみで食べていた子も、自分でスプーンを使って食べるようになり成長が感じられます。乳幼児期に正しいスプーンの持ち方ができていると、スムーズに箸へと移行することができます。楽しく無理なくスプーンを持てるようにするためには、発達に合わせて持ち方を変化させてあげることが大切です。

○上握り
(1歳～1歳6か月ごろ)
手のひらで握り込みます。



この持ち方をしている時はスプーンを持つことに慣れる段階です。

○えんぴつ握り(2歳ごろ～)
えんぴつの持ち方で持ちます。成長するとともに、正しい持ち方になります。



①鉄砲の形を作る。(パキューン持ち)
②中指の上にスプーンを乗せる。



スプーンが上手に使えるようになるために

- ・ままごとの中でスプーンを使って遊ぶ。
 - ・砂場でスコップで砂をすくう。
 - ・シールを貼ったりはがしたりする。
 - ・ペットボトルのキャップの開け閉めをする。
- など、遊びの中で指先や手首を使っていきましょう。